

令和6年度 北区運営方針 自己評価

令和7年6月27日 北区役所

運営方針の策定

- 「運営方針」は、各所属における当該年度の施策の選択と集中の方針を明示し、その概要を示すものです。
- 企業活動などで使われる「戦略計画」（経営戦略）の考え方を行政に取り入れたもので、「部門ごとに、自らのミッション（使命・役割）を認識した上で、現状分析や将来予測などを踏まえ、めざすべき状態の実現に向けて解決すべき課題が何かを明らかにし、課題を解決するための効果的な方策を練り、その方策に即した具体的な行動を明らかにする。」という計画です。

運営方針の自己評価

- 策定した運営方針については、成果を常に意識して取組の有効性をチェックし、改善や新たな展開につなげるため、自己評価（年度末振り返り）を実施します。
- 運営方針において設定している目標の達成状況等について自己点検・評価（Check）を行うことによって施策・事業の改善・見直しを行い（Action）、当該年度の運営方針の改定や次年度の運営方針の策定、予算編成等に反映させること（Plan）につなげることを意図しています。

目標(何を目指すのか)

北区将来ビジョンを実現する

Kita-ku where the people **gather**, **support** each other, and tie the **KIZUNA**

人が**集**い、ともに**支**えあい、**絆**をはぐくむまち

使命(どのような役割を担うのか)

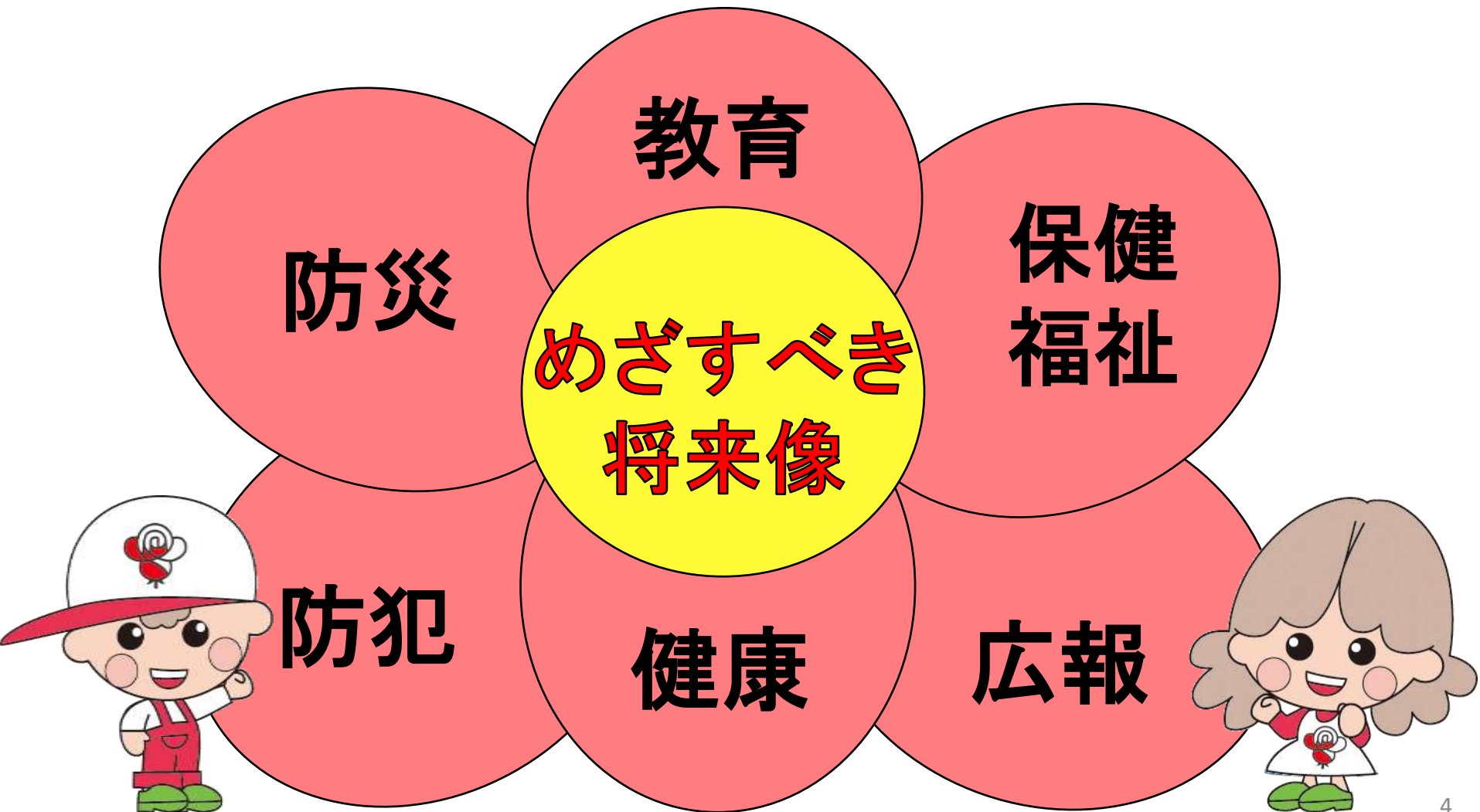
学校をプラットフォームとした事業を展開するとともに、地域、民間企業・団体、学校等との連携・協働を推進し、多様なコミュニティ形成に向けた支援を行い、防災力の強化や教育支援につなげる。



令和6年度 区運営の基本的な考え方



「防災」「防犯」「教育」「健康」「保健福祉」「広報」の各分野を区の経営課題に位置づけ、めざすべき将来像の実現に向け取り組む。



経営課題1 地域コミュニティ

課題認識

- ◆ これまで地域と関わりの少なかったマンション住民をはじめとする地域住民に対して、地域活動への参加・参画を促す事業を地域の実情に合わせて進めて行く必要がある。
- ◆ ライフスタイルの変化等により地域社会におけるつながりが希薄化しており、町会等において加入率の低下や担い手の不足が生じている。
- ◆ 多様な活動主体とのネットワークづくりの促進を支援する必要がある。

課題解決の方策

地域活動協議会による自律的な地域運営の向上

- ◆ 地域活動協議会の活動状況や自律の状況を把握し、地域カルテの更新などを通じて課題を共有したうえで、地域の実情に即したきめ細やかな支援を行い、マンション居住者を含め、より多くの住民参加による自律的な地域運営を実現する。
- ◆ 防災をテーマとした地域活動の支援を通じて、町会加入を促進する。
- ◆ 多様な活動主体と区役所との連携協働により地域活動を支援する。

具体的取組

- ◆ 地域活動協議会の活動状況を把握し、地域カルテの更新にかかる意見交換会を通じて課題を共有し、地域の実情に即した支援を行う。
- ◆ 各マンションのコミュニティ形成を目的とした防災講座や防災の基本ルールづくり等の支援(マンションコミュニティ支援事業)を各マンションの実情に即して実施する。



(目標値)経営課題の進捗度合を示した指標

- ① 地域団体へのアンケートで「地域活動協議会の構成団体が、地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組が自律的に進められている状態にあると思う」と回答した割合
- ② ジシン本出張講座受講者等に町会加入促進パンフレットを配布する。
- ③ 企業や学校、団体等と区役所との連携協働により地域活動を支援した件数

	6年度指標	6年度実績・達成状況		前年度実績
①	94.0%	97.9%	達成	94.4%
②	1,000人	1,300人	達成	—
③	3件以上	5件以上	達成	—



経営課題2 地域防災

課題認識

- ◆ 区内の約9割がマンション世帯であることを踏まえた地域コミュニティの形成を促進する必要がある。
- ◆ 防災訓練や講座に参加できる機会を増やす必要がある。



課題解決の方策

地域防災力の向上

- ◆ マンションにおけるコミュニティの形成や地域とのつながりを促進する。
- ◆ 小・中学校と連携して防災訓練や講座を実施する。
- ◆ 大阪北区ジシン本を活用する。



具体的取組

- ◆ マンションコミュニティの形成に向けた支援
- ◆ 小・中学校と連携した防災訓練の実施
- ◆ 大阪北区ジシン本を活用した防災講座の開催
(支援含む)



(目標値)経営課題の進捗度合を示した指標

- ① 防災訓練や講座の参加者数
- ② 上記のうち、大阪北区ジシン本を活用した防災講座の受講者数



	6年度指標	6年度実績・達成状況		前年度実績
①	12,000人	12,063人	達成	10,105人
②	上記に含む	2,806人	—	2,377人

経営課題3 地域安全

課題認識

- ◆ 区民の防犯に対する関心を高め、防犯意識を向上させるとともに、地域の犯罪抑止機能を向上させる必要がある。



課題解決の方策

犯罪の抑止と区民への啓発

- ◆ テレビ局アナウンサーの啓発アナウンスにより、青色防犯パトロールを行う。
- ◆ 区内3警察署や地域とも連携した啓発活動を実施する。

具体的取組

- ◆ 青色防犯パトロール(車両・自転車)による巡回を開庁日につき2回(午前・午後)継続的に実施



(目標値)経営課題の進捗度合を示した指標

- ◆ 青色防犯パトロールの稼働率

6年度指標	6年度実績・達成状況		前年度実績
95%	98%	達成	98.7%



経営課題4 自転車利用の適正化

課題認識

- ◆ 放置自転車をなくすため、地域住民、商店街、企業等と連携した啓発活動を行うとともに、放置自転車撤去を実施し、自転車利用者のマナー改善を図る必要がある。
- ◆ 駐輪場の整備を進めるとともに、駐輪場誘導員の常時配置により、空き駐輪場の利用を促進していく必要がある。



課題解決の方策

放置自転車の削減

- ◆ 地域住民、商店街、企業等と連携した啓発活動を継続実施する。
- ◆ 駐輪場の整備並びに空き駐輪場の利用を促進する。
- ◆ 啓発・監視活動と連携した放置自転車撤去を行う。

具体的取組

- ◆ 地域住民、商店街、企業等と連携した啓発活動
(梅田東・西梅田・堂島・曽根崎・北野エリア)
- ◆ 日中(午後)の駐輪場誘導員の常時配置
(茶屋町、天神橋筋六丁目、南森町、大阪、北新地)
- ◆ 駐輪場の整備



(目標値)経営課題の進捗度合を示した指標

- ◆ 放置率
(算出方法) 1日あたりの放置自転車台数／乗入台数

6年度指標	6年度実績・達成状況		前年度実績
8%	8%	達成	8%



経営課題5 子どもの安全

課題認識

- ◆ 家庭や事業所以外にも「こども110番」運動を普及させる取組が必要である。



課題解決の方策

- ◆ 家庭や事業所用以外に、新たに、車両用の「こども110番」ステッカーを作成するなど、協力先の新規拡大を図る。

地域の子どもは地域で守る「こども110番」



具体的取組

- ◆ 新たな協力依頼先として、保育施設、幼稚園、中学校の保護者へ「こども110番」ステッカーなどの掲出協力依頼を行う。



(目標値)経営課題の進捗度合を示した指標

- ◆ 「こども110番」ステッカーなどの掲出協力件数

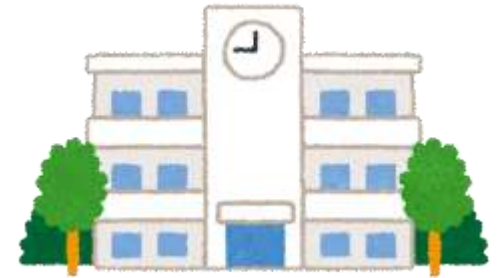
6年度指標	6年度実績・達成状況		前年度実績
30,000件	30,495件	達成	28,566件



経営課題6 小学生の学力向上

課題認識

- ◆ 全国学力テスト平均正答率の対全国比が1未満の学校の学力向上支援を行う必要がある。



課題解決の方策

授業の質向上の支援

- ◆ 全国学力テストの平均正答率が対全国比において1未満の学校へ人的資源を派遣する。



具体的取組

◆ 小学校への学校活動有償ボランティア派遣事業の実施



「学校活動有償ボランティア」とは
発達障がいや不登校、日本語指導が
必要などの課題解決に向けた環境支
援の役割を担う

(目標値)経営課題の進捗度合を示した指標

◆ 区内全小学校(12校)の全国学力テストの平均正答率 が全国平均を上回る学校

6年度指標	6年度実績・達成状況		前年度実績
12校	10校	未達成	8校



経営課題7 小・中学生のキャリア教育

課題認識

- ◆ 小・中学校に対し、子どもたちが、夢や希望を見つけられるきっかけとなる支援を行う必要がある。



課題解決の方策

本物に触れる講話や芸術体験の提供

- ◆ 企業や団体など、地域資源を活かした、多彩な体験事業を実施する。

具体的取組

- ◆ 小・中学校に対する芸術鑑賞会の実施
- ◆ 中学校部活動に対する支援の実施
- ◆ 中学校に対するキャリア教育支援の実施

天満天神繁昌亭



(目標値)経営課題の進捗度合を示した指標

- ◆ 区が実施する体験事業により、夢や目標が持てた中学校1年生の割合

6年度指標	6年度実績・達成状況		前年度実績
92%	91%	未達成	93%



経営課題8 地域福祉

課題認識

- ◆ まちとも事業サービスのサポート会員、地域福祉コーディネーター(Co)、民生委員、コミュニティソーシャルワーカー(CSW)、また各専門的機関という、地域における切れ目のない支援体制の構築を一層進める必要がある。
- ◆ さまざまな福祉課題は、身近な地域で早期段階からの対応が少しでも重篤化を防ぐことにつながることから、福祉人材(ボランティアなど)を継続的に発掘する必要がある。
- ◆ 高齢者や障がいのある人々への日常の見守り活動や支援のため、要援護者名簿を活用した取組みを、地域や企業・さまざまな団体などと連携して推進する必要がある。

課題解決の方策

第2期地域福祉計画の推進

- ◆ 「まちとも事業」を継続的に実施し、住民相互の助け合いを推進する。
- ◆ CO、CSW等を継続的に配置し、アウトリーチ等により複合課題を抱える重篤な家庭の掘り起こしや重篤化の予防を行い、専門的な知識や経験をもって相談支援体制を充実・強化する。

具体的取組

- ◆ まちとも事業サポート会員養成講座(まちともガイダンス)を開催
- ◆ 地域福祉コーディネーター(Co)配置(継続)
- ◆ コミュニティソーシャルワーカー(CSW)を配置(継続)



「まちとも事業」とは
日常生活のちょっとした困り
ごとを、住民同士で助け合う
活動



「地域福祉コーディネーター(Co)」とは
概ね地域社協の範囲で配置され、
地域の見守り活動や関係機関への
取り次ぎ等の役割を担う。

(目標値)経営課題の進捗度合を示した指標

- ◆ CSWの相談件数について、Coやその他関係機関等から引き継いだケースを含め、自らアウトリーチによる相談や支援にあたり、支援方針を示すことができた割合



「コミュニティソーシャルワーカー(CSW)」とは
概ね中学校区の範囲で配置され、解決困難な事例の支援機能強化やCoへの支援・研修等の役割を担う。

6年度指標	6年度実績・達成状況		前年度実績
90%	90.89%	達成	—

経営課題9 重大な児童虐待ゼロ

課題認識

- ◆ 子育てに不安や悩みを持つ保護者への継続的な相談・支援を行う必要がある。
- ◆ 子育てニーズに対応したさまざまな事業について、真に支援を必要とする人の利用促進を積極的に行う必要がある。
- ◆ 不登校やひきこもり等の課題を抱える家庭に対し、スクールソーシャルワーカー（SSW）を活用し、学校・地域・コミュニティソーシャルワーカー（CSW）などをはじめとするさまざまな支援機関と密に連携しながら、家庭全体への支援を行う必要がある。
- ◆ プレスクールワーカーを活用し、区内の保育施設等が抱える子どもの発達や、保護者支援などの課題について、適切なアドバイスを行い、連携して未就学期からの切れ目のない支援体制を構築する必要がある。

課題解決の方策

児童虐待の発生予防・早期発見

- ◆ 子育ての不安を解消するための相談体制を充実させる。
- ◆ 子育て支援施設との連携及び見守りの強化に努める。

具体的取組

- ◆ 子どもとの関わり方についての講習会（ペアレントトレーニング）を開催
- ◆ プレスクールワーカーを配置



「プレスクールワーカー」とは
未就学児を取り巻く課題に対する課題解決に向けた環境支援の役割を担う

（目標値）経営課題の進捗度合を示した指標

- ① 子どもとの関わり方についての講習会（ペアレントトレーニング）実施後のアンケートにおいて、講座内容に満足したと感じる割合
- ② 子育て支援施設との関係を構築できた施設数（全95施設）

	6年度指標	6年度実績・達成状況		前年度実績
①	75%	100%	達成	100%
②	95施設	96施設	達成	95施設



経営課題10 子育て支援

課題認識

- ◆ 育児経験のない母親が子育てに関する知識を習得するとともに、母親同士の横のつながりをつくり、子育て中の孤立化を防ぐ必要がある。



課題解決の方策

親の育児不安・ストレスの軽減

- ◆ 第1子の子育て中の母親が育児知識を習得するとともに、母親同士の横のつながりを作ることができる場を増加させる。



具体的取組

- ◆ 第1子の乳児を育てる親と子を対象にした「親子の絆づくりプログラム」を開催



(目標値)経営課題の進捗度合を示した指標

- ◆ 親子の絆づくりプログラムの受講者数



6年度指標	6年度実績・達成状況		前年度実績
140組	128組	未達成	142組

経営課題11 健康長寿

課題認識

- ◆ 要介護につながる原因疾患の予防が重要である。
- ◆ 具体的には、適度な運動や栄養バランスのとれた食生活の実践、また、認知症予防に努める必要がある。



課題解決の方策

要介護の予防

- ◆ 介護予防に効果がある体操やレクリエーションを開催する場を増加させるとともに、現在開催している場の効果的な継続開催に向けた支援に努める。
 1. 「いきいき百歳体操」の新規開催を地域や自治会等に働きかける。
 2. 「はつらつ脳活性化教室」のサポーター養成講座及びサポーターレベルアップ講座を開催する。

具体的取組

- ◆ 「いきいき百歳体操」の新規開催を地域や自治会等に働きかける
- ◆ 「はつらつ脳活性化教室」のサポーター養成講座を開催
- ◆ 「はつらつ脳活性化教室」のサポーターレベルアップ講座を開催



(目標値)経営課題の進捗度合を示した指標

- ◆ 介護予防の為に集いの場の開催箇所数

6年度指標	6年度実績・達成状況		前年度実績
26か所	26か所	達成	26か所

経営課題12 区政情報・地域情報の発信

課題認識

- ◆ 区政情報の発信を強化することと並行して、区民同士での情報交換ができるプラットフォームとして、令和2年度から連携を始めた地域コミュニティアプリ「ピアッザ」を活用し、住民同士のつながりの形成を促進する必要がある。



課題解決の方策

区民間の情報交換の促進

- ◆ 地域コミュニティアプリ「ピアッザ」の認知度の向上を図り、登録者を増やす。
- ◆ 区役所からの投稿呼びかけ等を実施し、区民同士の情報交流を促進する。

具体的取組

- ◆ ピアッツァのチラシ等を区役所に配架するほか、区内公共施設、保育園・幼稚園等に配布する。
- ◆ 広報紙で、SNS登録呼びかけを行う。



(目標値)経営課題の進捗度合を示した指標

- ◆ 地域コミュニティアプリ「ピアッツァ」の登録者数

6年度指標	6年度実績・達成状況		前年度実績
4,500人	4,715人	達成	4,184人

